



8/9(日)開催

## たてし軽トラ市

初参加2台を含む9台に出店いただきました。大雨警報が発令されていたにも拘わらず大勢の方にご来場いただき大盛況でした。館腰まち協名物の半殺し焼きの売上は今ひとつで、担当スタッフの働き方改革が必要のようです。(高橋慎)



**今年度の活動を振り返って**  
今年度の館腰まち協はコロナ禍によりあまり活動は出来ませんでした。それでも4つの事業は行うことが出来ました。それらをここで振り返ってみたいと思います。

9/12(土)開催

## 竹あかり たてし夕べ

竹あかりで使う竹灯籠ですが、その数2千本を超えました。実は、旧長津小学校体育館のステージ下に収納しているのですが、もう空きスペースが有りません。今年も増えたらどうしよう(汗)  
(山田紀和)



11/8(日)開催

## 塩野町フリーマーケット

塩野町フリマにも出店した定番の半殺し焼きにはゴマだれ、くるみみそという2種類の味が。以前は売れ方に偏りがあったものの、ある時に始めたセット販売が大当たり。作業効率、売上UPでがっちり！です。(中山靖夫)



10/25(日)開催

## 研修視察

今年度からまち協に参加させて頂き初めての視察研修(福島県喜多方市雄国)。そして竹細工初体験。子どもの頃から工作が苦手だった私ですが、いざ挑戦してみると夢中になり何とか籠を作ることが出来ました。(講師の方のお力で^-^)(小池良紀)



# 地域の歴史資料

## 小川館について

歴史文化副部長 石栗 一成



戦国時代、小川集落の金源寺周辺には小川館があったと伝えられています。周囲を堀と土塁で囲った館跡と考えられ、だれがいつ作ったのか詳しいことは不明ですが、本庄氏の支族だった小川氏の館であったと言われています。

天文8(1538)年、館主の小川長資は本家の本庄房長の弟でしたが、房長が出羽遠征の途中で病死した隙を突き、同族の大葉沢城主の鮎川清長とともに本庄城(村上城)を占拠します。房長の嫡子千代猪丸(のちの本庄繁長)の幼少につけ込み、長資は後見人となることでその実権を握りました。しかし、天文20(1551)年、長資は兄房長の十三回忌に参列した際に当時13歳の繁長に耕雲寺で捕えられて切腹させられ、小川家は断絶してしまいます。



金源寺付近上空から

のちに、甲斐武田家の家臣であった石栗将監が越後上杉謙信

を頼り、本庄房長、繁長の家臣として仕え、この小川館に入ったと言われています。また、金源寺は元和元(1615)年、石栗氏によって寺尾から移転して建立したものと伝えられています。

すでに館跡はありませんが、幼少の頃父より「昔、家の裏にお城があったんだぞ!」と教わり、小さいながら「ここ掘ったらお宝出るかも」と、ちよつとワクワクした事を思い出しました。

## シュークリームを作ってみました!

1月31日(日)に予定していた館腰まち協の料理教室が、コロナウイルスの感染を考慮して中止となってしまいました。レシピを紹介しようとインターネットで調べてみると、うまく膨らんでくれませんでしたので、写真を撮りました。わりと簡単なのでぜひ作ってみてください。

- ① 火を止めて、生地をボウルにうつす。卵を最初に1個ほど一度に入れ、ゴムベラですっかりと混ぜる。卵を生地にまぶし生地を切り崩すように混ぜる。
- ② 入れた卵がすべて馴染んでひとかたまりになったら、残りの卵を3~4回にわけて加え、その都度まとまるまでよく混ぜる。生地のもつ水分量によって、加える卵の量を調整。出来上がり生地が目安は、ゴムベラから生地がゆっくりと落ちて、キレイな三角形でとどまるくらい。
- ③ 生地を絞り袋にいれ、温かいうちに13mmの丸口金で直径45mmに絞る。
- ④ 漉しておいた溶き卵を、ハケを使ってシュー生地に塗り、霧吹きをする。
- ⑤ 余熱200℃で温めた電気オーブンを190℃にセットし、25分焼く。焼いている途中、絶対にオーブンを開けないこと。180℃に温度を下げてようすを見ながらさらに10分程度焼く。焼きあがったら、そのままオープンの中で冷ます。



- 材料 (直径45mm サイズ、18個分)
- 牛乳 … 160g ●無塩バター … 60g
  - 塩 … 2g ●グラニュー糖 … 4g
  - 薄力粉 … 90g (準強力粉でも可。生地にハリが出る)
  - 全卵 … 145g (約3個、生地に塗る分は別に分けておく)

- 下準備 材料は全て常温に戻しておく。薄力粉はふるっておく。生地に塗る卵は漉しておく。
- ① 鍋に牛乳、無塩バター、塩、グラニュー糖を入れる。鍋は銅やステンレスの厚手鍋。
- ② 鍋からはみ出ない程度の強火で、中心まで沸騰させる。バターを沈める程度にかき混ぜる。
- ③ 火を止め、ふるっておいた粉を一度に加えてゴムベラですっかりと手早く混ぜる。
- ④ ひと塊になったらもう一度火をつけて、中・強火で鍋の底に薄く膜ができる(10秒ほど)まで加熱する。

### INFORMATION

#### まち協の住民アンケートを実施します

住民の意識・ニーズを把握してまち協事業に活かすため、朝日地区の各まちづくり協議会合同で中学生以上の住民アンケートを実施しますのでご協力をお願いいたします。

#### 田んぼアートなどを予定しています

新年度はコロナウイルスの感染に配慮しながら、田んぼアートや軽トラ市、竹あかりたてこしの夕べなどの事業を予定しています。後日、チラシや広報紙でお知らせいたしますので、参加ご協力お願いします。



館腰地域まちづくり通信 34号

[2021年3月15日発行]

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上市朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881

mail [as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp](mailto:as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp)

Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>



### 編集後記

こんないい川柳を目にしました。「入社して上司の素顔知らぬまま」コロナの影響で、リモートやマスクをした状態での生活が続いて初対面の人の素顔を見ないまま時間が過ぎていくので、早くマスクなしでの生活に戻れるといいなあと思いながら読んだ一句だそうです。

本当にマスクなしでおしゃべりしたり笑ったりしたいですね。一日も早いコロナの終息を願いたいものです。私達もコロナに負けず出来ることを考え、地域の皆様とひとつでも多くのイベントなどを楽しみたいと思っています。(N.S)